

後援会報

2011. 6月発行20号

事務局 水島 恒義

不二越工業高校内

TEL (076) 425-8304

不二越工業高校同窓野球部

後援会長 岡崎 慎一

後援会の皆様には日頃より多大な協力、ご支援を頂き感謝申し上げます。

昨年は、春の大会では3回戦の対富山商業戦は序盤まで一方的に攻め勝っていましたが、終盤に得点を許しまさかの逆転負けを喫し、やはり勝負は最後まで分からないものだと思います。

それから直ぐの夏の大会では1回戦は高岡向陵高校、2回戦は石動高校にとコールド勝ちでコマを進めた同じく3回戦、去年の覇者砺波工業戦では再び悪夢に見舞われたように逆転負けと、本当に残念な年でした。 昨年蛇田監督が言っておられ事

まず、投手陣においては勝負球が甘く、ストライクのほしいときの制球がままならない。

打撃もワンチャンスに1本が出ず流れが悪くなるというような状態を作らないようにする

「守りから攻撃へのリズム」を考えて練習していきたいと言っておられましたが、その言葉の大事さを改めて今思い起こしています。

部員達もその指導の元「厳しい練習に耐えて頑張っています」が、本当になかなか勝利の女神が微笑んでくれません、生徒達は今年こそその思いを胸に毎日グラウンドで必死にボールを追っかけています。

後援会の皆様には、東日本大震災の影響もあり経済状況も不安定な状態で大変でしょうが、折があればまた後輩の練習を見てやって頂き、励ましの言葉を掛けてやって下さい。

皆様の健闘をお祈りし熱きご支援をなにとぞ、よろしく御願いたします。

不二越工業高等学校

校長 八重崎 信好

後援会各位には日頃から本校野球部の活動にご支援賜り深く感謝申し上げます。

作シーズンは皆様に熱烈な応援を頂き選手一同、奮闘努力した1年でした。

しかしながら、ご期待にもかかわらず、夏はベスト16、秋は2回戦で敗退と期待を裏切る結果しか出せず、誠に申し訳なく思っております。

この1年の戦績は、本大会10戦、練習試合46戦の、28勝26敗2引き分けで幾分か過酷なシーズンを送ったのも一因かもしれません。

中でも公式戦直前の練習試合での敗戦が目につきます。やり方を検討する時期にきております。

本年は、蛇田体制集大成のシーズンであり、きっとOBの皆さんはじめ、本校を応援して下さい、皆さんの期待にこたえる結果を出してくれるものと信じております。

OBの皆様方には、是非時間を作って、応援してやって頂きたいと思っております。

春の大会は、準優勝校の高岡商業高校と一回戦で対戦し、善戦むなしく2-4で惜敗致しました。今年は国際大学付属高校が優勝するなど、戦国大会の様相を呈しており、夏の大会は、どのチームにも可能性があります。本校も十分期待できる戦力を有しており、期待して頂いてよろしいと思っております。

既に、平成5年の甲子園出場から18年。今の球児はその頃まだ生まれていなかった子供たちです。

当時と社会環境、高校スポーツ界の状況も大きく変わっています。今年のような混乱期にこそ今まで以上に、高校生の澁刺さ、一途さが国民を勇気付けると信じます。その威光を是非認識させ、尽力させます。

御支援の程お願い申し上げます。不二越野球部、そしてOB諸氏に栄光あれ。